

やまとの環境

概要版

—環境基本計画年次報告書—

令和6年度版(令和5年度実績)



大 和 市

「やまとの環境」（大和市環境基本計画年次報告書令和6年度版(令和5年度実績)）

1. 今年度の特徴

(1)本市における気候変動とその影響

令和5年は、年平均気温が17.6℃、年最高気温が36.6℃となり、これまでで最高となっています。

(2)「散乱ごみの少ないきれいなまちだ」と思う市民の割合の回復

令和2年度から4年度にかけて低下していた「散乱ごみの少ないきれいなまちだ」と思う市民の割合の上昇がみられました。コロナ禍で中止されていた「清掃の日」や市民によるボランティア清掃が再開され、散乱ごみが減少したと実感する市民が増えたと考えられます(詳しくは4ページをご覧ください)。

(3)本市の温室効果ガス排出量削減の順調な進展

国などの統計に基づき、最新値となる令和4年度の温室効果ガス排出量を算定しました。

その結果、令和4年度の排出量は、基準年度である平成25年度と比較して28.2%削減となり、令和3年度の25.3%削減から、さらに削減が進んでいます。また、全国的に見ても、削減が進んでいると言えます(詳しくは14ページをご覧ください)。

工場の減少などの影響が大きいとともに、市民の皆様日々多大なご協力をいただいているごみの分別回収などが温室効果ガス排出量削減に大きく表れているのが本市の特徴です。

本市は「大和市地球温暖化対策実行計画」をもとに、令和9年度(2027年度)までに平成25年度から40%の削減を、令和12年度(2030年度)までに同じく46%の削減を目指しています。

現在の削減状況は、こうした本市と国の削減目標の達成が現実的に可能なペースとなっています。今後も、市民や事業者の皆さまのご協力をいただき、国や県などと連携しながら、より一層の排出量削減を進め、目標達成を目指してまいります。

2. 各環境要素の数値目標と達成状況

色付き部分は未達成

環境要素	数値目標	令和9年度 目標値	令和4年度 数値	令和5年度 数値	備考
空気	二酸化窒素濃度	0.04ppm 以下	0.027ppm	0.026ppm	目標達成を維持
水	BOD (生物化学的酸素要求量)	境川 3.0mg/ℓ以下 引地川 2.0mg/ℓ以下	境川 1.6mg/ℓ 引地川 1.3mg/ℓ	境川 1.4mg/ℓ 引地川 1.1mg/ℓ	目標達成を維持
音	市内全調査地点で環境基準をクリア	100%	83%	50%	基準をクリアできなかった地点が増加
美化	「散乱ごみの少ないきれいなまち」 だと思う市民割合	50%	市民 51% 事業者 51%	市民 56% 事業者 49%	市民は目標達成 アンケート結果
緑	保全緑地契約面積等	26.2ha	26.5ha	26.5ha	目標達成を維持
生物	「身近に多くの種類の動植物とのふれ あいのあるまち」だと思う市民割合	50%	市民 31% 事業者 41%	市民 35% 事業者 39%	横ばい傾向 アンケート結果
	市内でミンミンゼミの生息が 確認されていること	生息を確認	生息を確認	生息を確認	目標達成を維持
景観	「魅力ある街並みを持っているまち」 だと思う市民割合	40%	市民 26% 事業者 26%	市民 29% 事業者 28%	横ばい傾向 アンケート結果
安全	各環境中の基準濃度を超過した 有害化学物質数	0種類	3種類	3種類	横ばい傾向
産業	環境に配慮した事業活動を行 っている事業者割合	50%	54%	45%	減少傾向 アンケート結果
基地	航空機騒音に係る環境基準の 達成率	100%	60%	60%	横ばい傾向
	航空機騒音を減減させるよう 取り組む	取組んでいる	取組んでいる	取組んでいる	目標達成を維持
都市空間	一人当たりの都市公園等面積	6.8m ² 以上	6.85 m ²	6.83 m ²	目標達成を維持
地球環境	温室効果ガス排出量削減率 (2013年度比)	40%削減	28.2%削減	*一年遅れで 公表	改善傾向
水循環	雨水貯留槽購入費補助申請 累積件数	650件	477件 (7件)	481件 (4件)	横ばい傾向
資源	資源化率	32.2%	29.0%	28.4%	横ばい傾向
	市民一人一日当たりの 家庭系ごみ排出量	438g未満	413g	405g	目標達成を維持
エネルギー	住宅用太陽光発電 システム補助累積件数	2,500件	1,952件 (90件)	2,031件 (79件)	横ばい傾向
環境保全 活動	やまと みどりの学校プログラム への参加校	市内小中学校 全校 28校	21校	20校	横ばい傾向
	「環境に配慮したり、環境保全活動に 取り組む人が多い」と感じる市民割合	50%	市民 35% 事業者 39%	市民 38% 事業者 32%	横ばい傾向 アンケート結果

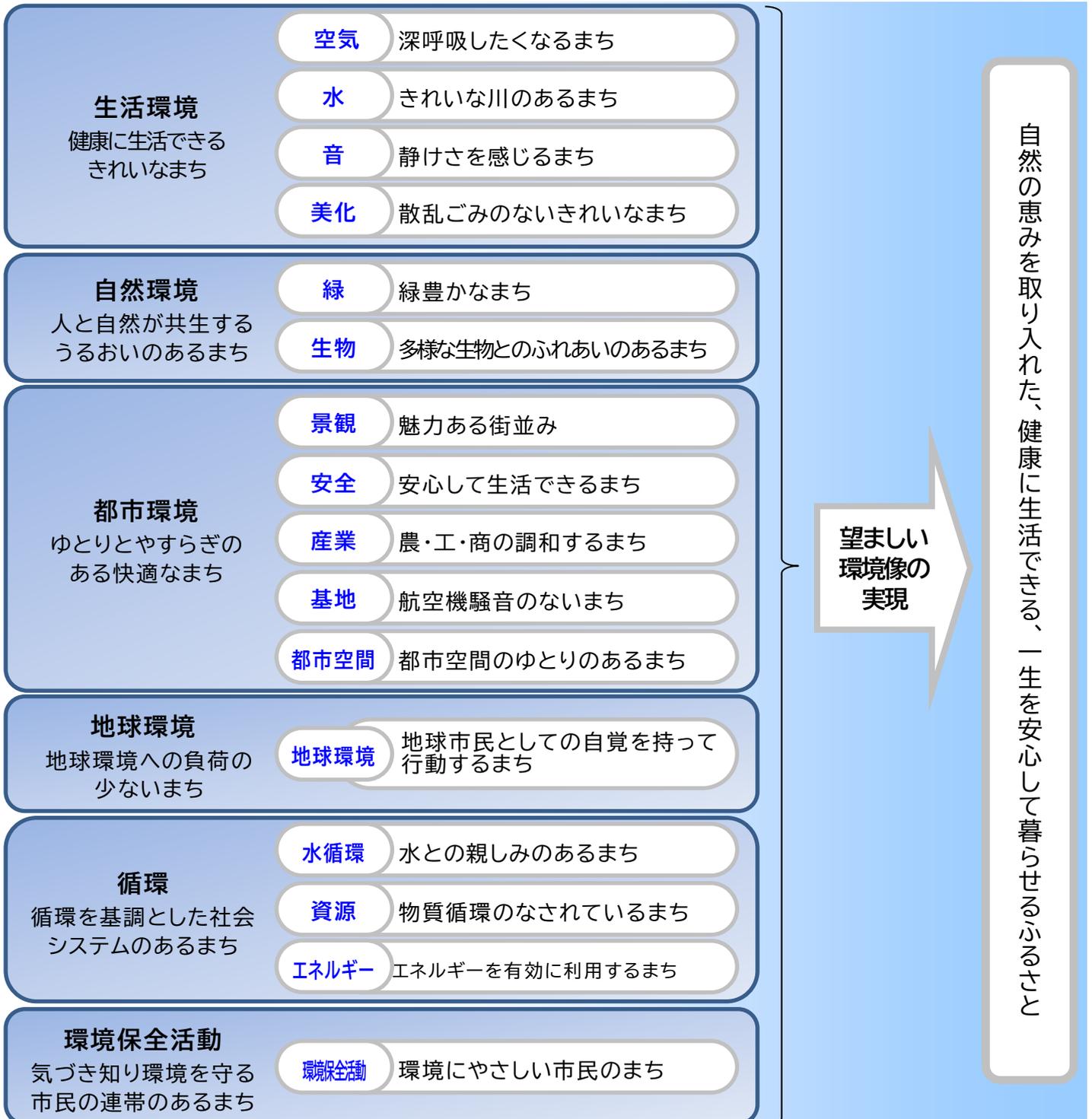
※()内の数字は単年当たりの件数

やまとの環境(大和市環境基本計画年次報告書)について

大和市では、平成10年2月に施行された「大和市環境を守り育てる基本条例(以下、「基本条例」という。)」第8条に基づき、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成10年度に「大和市環境基本計画(以下、「環境基本計画」という。)」を策定し、平成29年度には2回目の改定をしました。

本年次報告書は、基本条例第13条に基づき、本市の環境の現況や環境基本計画に基づく施策の進行状況を明らかにするため、毎年とりまとめ、発行しているものです。

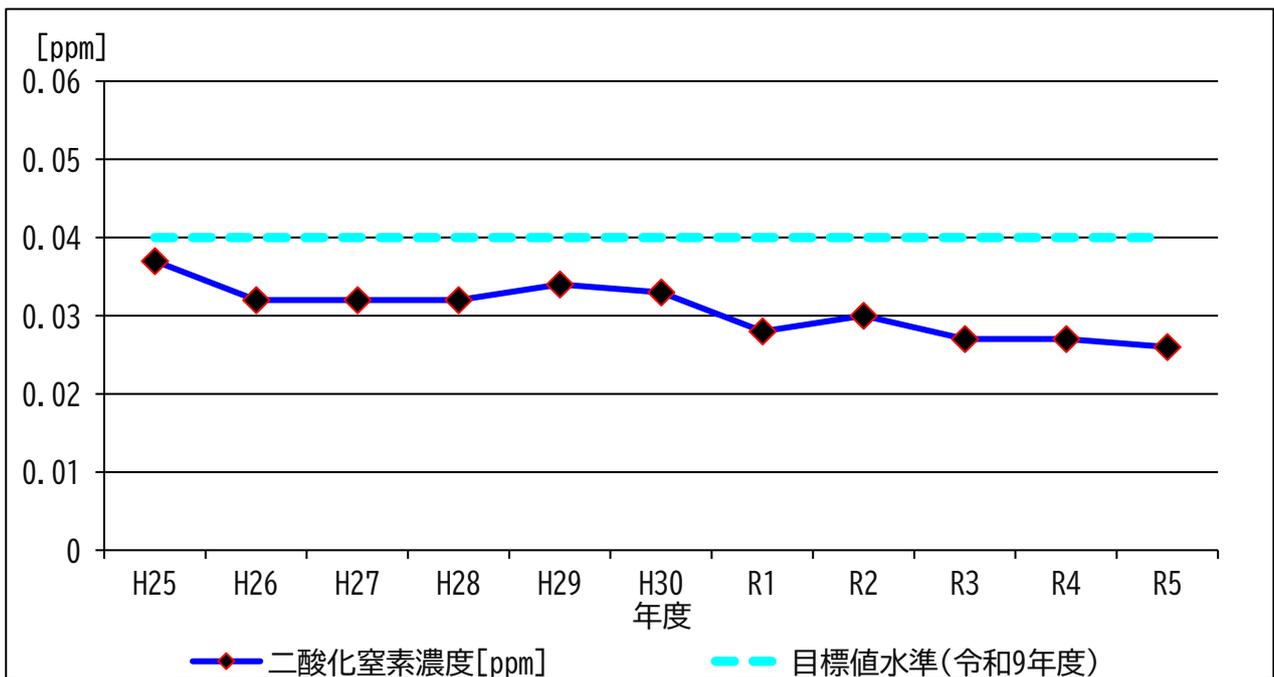
大和市環境基本計画 計画の体系と目指すべき望ましい環境像



1. 空気	生活環境
<p>目 標 : 深呼吸したくなるまち</p> <p>数値目標 : 二酸化窒素濃度 0.04ppm 以下</p> <p>人の健康を保護するうえで維持されることが望ましい国の環境基準を基に設定したもので、環境基準同様に、日平均値を一年分並べて低い方から98%に相当する値</p>	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
二酸化窒素濃度[ppm]	0.028	0.030	0.027	0.027	0.026	0.04

- 【本年度の評価】 目標を達成した
- 【評価について】 低公害車やハイブリッド車や電気自動車等の普及により、低減傾向にあると考えられる。
- 【目標の確認方法】 常時監視測定局の大和市役所における二酸化窒素濃度年間98%値（環境基準）の経年変化を測定



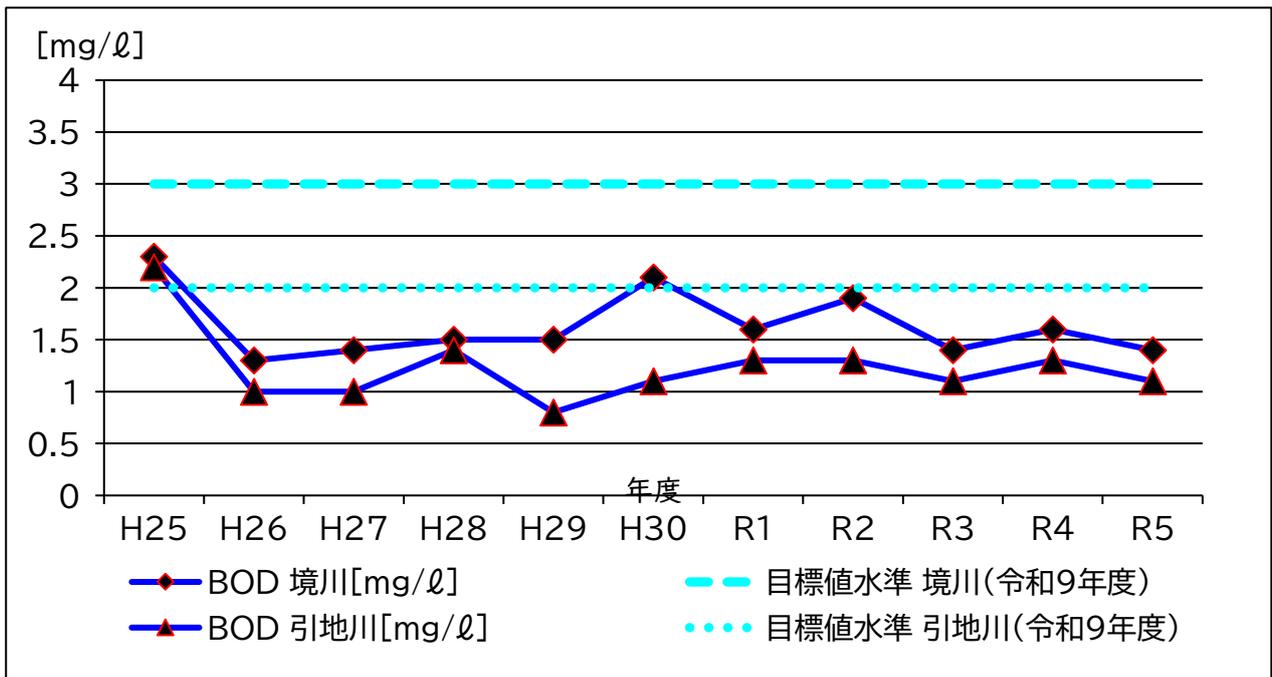
【令和5年度の実施事例】

- ・コミュニティバス「のろっと」及び「やまとんGO」、西鶴間・上草柳地域の協働事業「のりあい」の運行を継続することにより、交通利便性の向上が図られた。
- ・環境配慮指針への掲載や市HP、環境フェア等での周知を通じて、自転車や徒歩による移動を推進した。
- ・特殊車両を含めた市で所有する全車両のうち低公害車の占める割合は86.8%となった。

2. 水	生活環境
目 標 : きれいな川のあるまち 数値目標 : BOD(生物化学的酸素要求量)境川 3.0mg/ℓ 以下・引地川 2.0mg/ℓ 以下 生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい国の環境基準を基に 設定したもので、市が独自に行う水質調査の平均値による値	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
BOD 境川[mg/ℓ]	1.6	1.9	1.4	1.6	1.4	3.0
BOD 引地川[mg/ℓ]	1.3	1.3	1.1	1.3	1.1	2.0

- 【本年度の評価】 目標を達成した
- 【評価について】 高い下水道普及率や事業者への指導等により、環境基準を達成する水質を維持できていると考えられる
- 【目標の確認方法】 河川の水質測定



【令和5年度の取組事例】

- ・適正な計画・管理・運営をすることにより、公共下水道の質的向上に努めた。
- ・下水道出前授業を19校で実施したほか、1校に対し教材等を配布し、学校の教員による授業の実施を支援した。また、下水道ポスター展を開催し、14校から1304点の応募があった。
- ・側溝や集水桝、河川の清掃を実施した（側溝2,415m、河川2,612m）。
- ・河川水質調査（境川3地点、引地川2地点）を実施した。

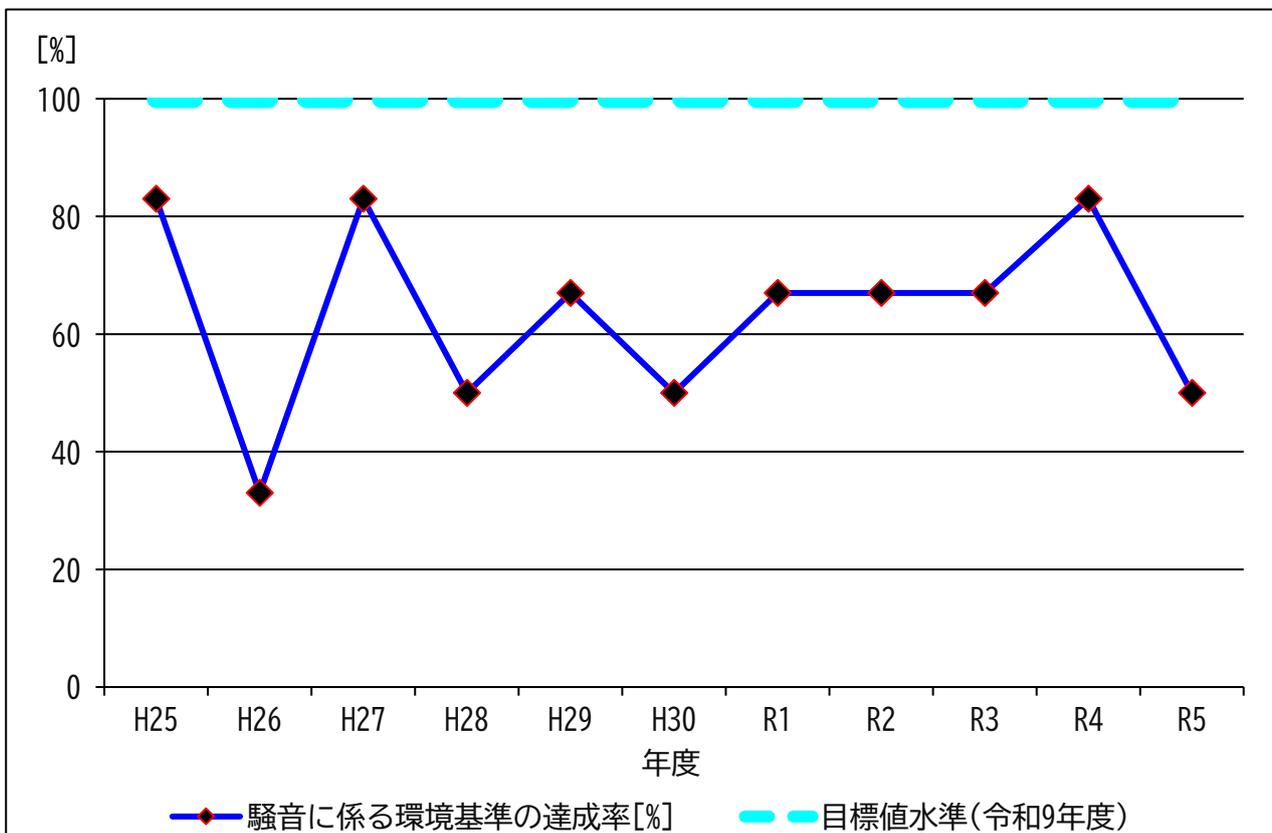
3. 音	生活環境
目 標 : 静けさを感じるまち 数値目標 : 市内全調査地点で環境基準をクリア 市内全道路騒音調査地点における、騒音に係る環境基準の達成率	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
騒音に係る環境基準の達成率 [%]	67	67	67	83	50	100

【本年度の評価】 目標は未達成であり、悪化した

【評価について】 例年に比べ、交通量が増加した可能性が考えられる

【目標の確認方法】 幹線交通を担う道路における騒音測定



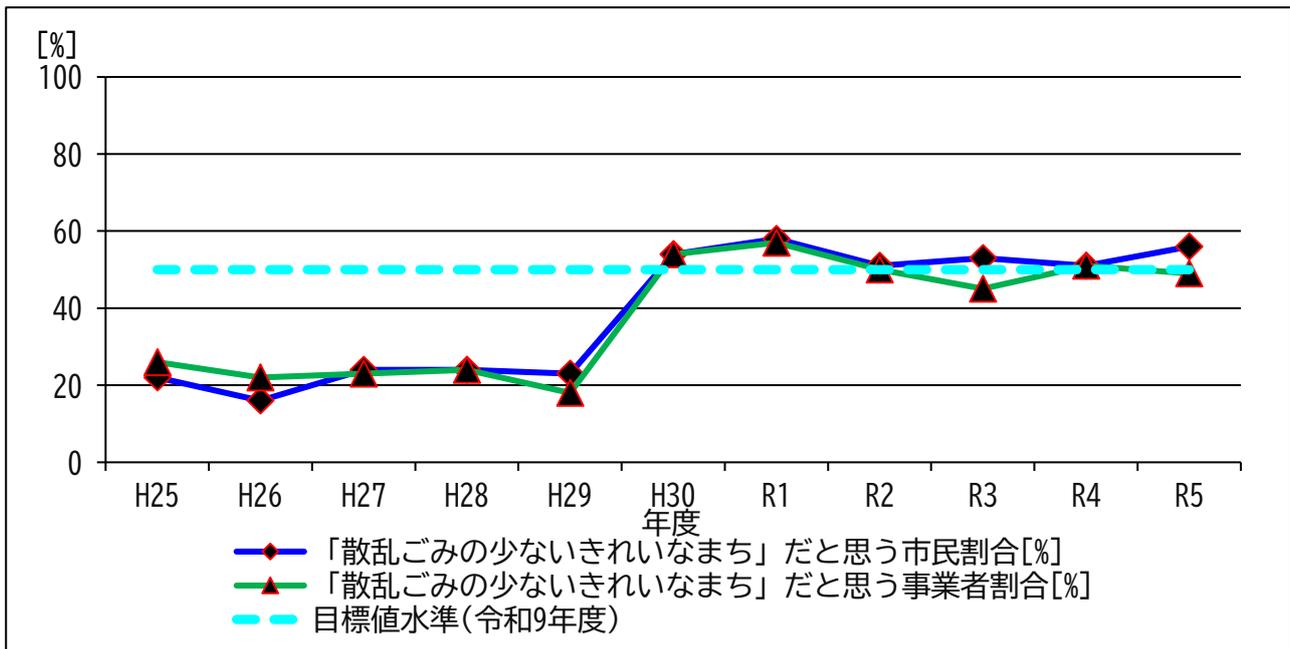
【令和5年度の取組事例】

- ・工場・事業所から発生した騒音・振動苦情8件、屋外作業に伴う騒音・振動苦情29件、建設作業に伴う騒音・振動苦情20件、音響機器（カラオケ）を使用した営業店に対する苦情2件について、事業者に指導を行った。
- ・広報や市HPで生活騒音防止に関する意識啓発を行った。
- ・市内6地点で道路交通騒音の測定を実施した。

4. 美化	生活環境
目 標 : 散乱ごみのないきれいなまち 数値目標 : 「散乱ごみの少ないきれいなまち」だと思ふ市民・事業者割合 50% 市が行う環境に関するアンケート調査結果	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合[%]	58	51	53	51	56	50
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%]	57	50	45	51	49	50

- 【本年度の評価】 事業者割合は減少し目標は未達成だったが、市民割合は増加し目標を達成した
- 【評価について】 コロナ禍により中止されていた「清掃の日」や市民によるボランティア清掃が再開され、散乱ごみが減少したと実感する市民が増加したと考えられる。
- 【目標の確認方法】 市民・事業者アンケートの実施



【令和5年度の取組事例】

- ・不法投棄防止の啓発看板等の作成やパトロールを行うとともに、ボランティア袋を市民に配布し、散乱ごみや不法投棄防止のための意識啓発を行った。
- ・小学校全学年に対して環境ポスターを募集し、優秀作品の表彰及び展示を行った。
- ・年間クリーンキャンペーンとして、清掃の日、例月まち並み清掃及び美化推進月間を行い、市民、自治会、事業者、団体に対して支援した。

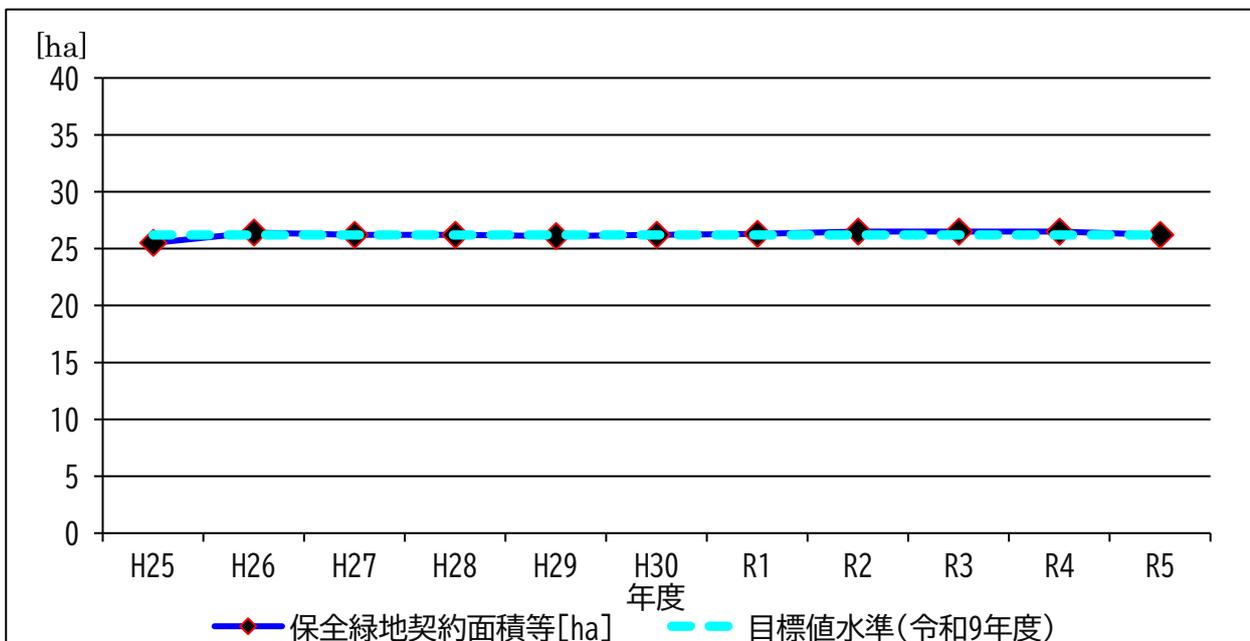
5. 緑	自然環境
目 標 : 緑豊かなまち	
数値目標 : 保全緑地契約面積等 26.2ha	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
保全緑地契約面積等[ha]	26.3	26.5	26.5	26.5	26.5	26.2

【本年度の評価】 目標を達成した

【評価について】 緑の拠点となる保全緑地の契約を継続し、保全できている

【目標の確認方法】 保全緑地契約面積等の把握



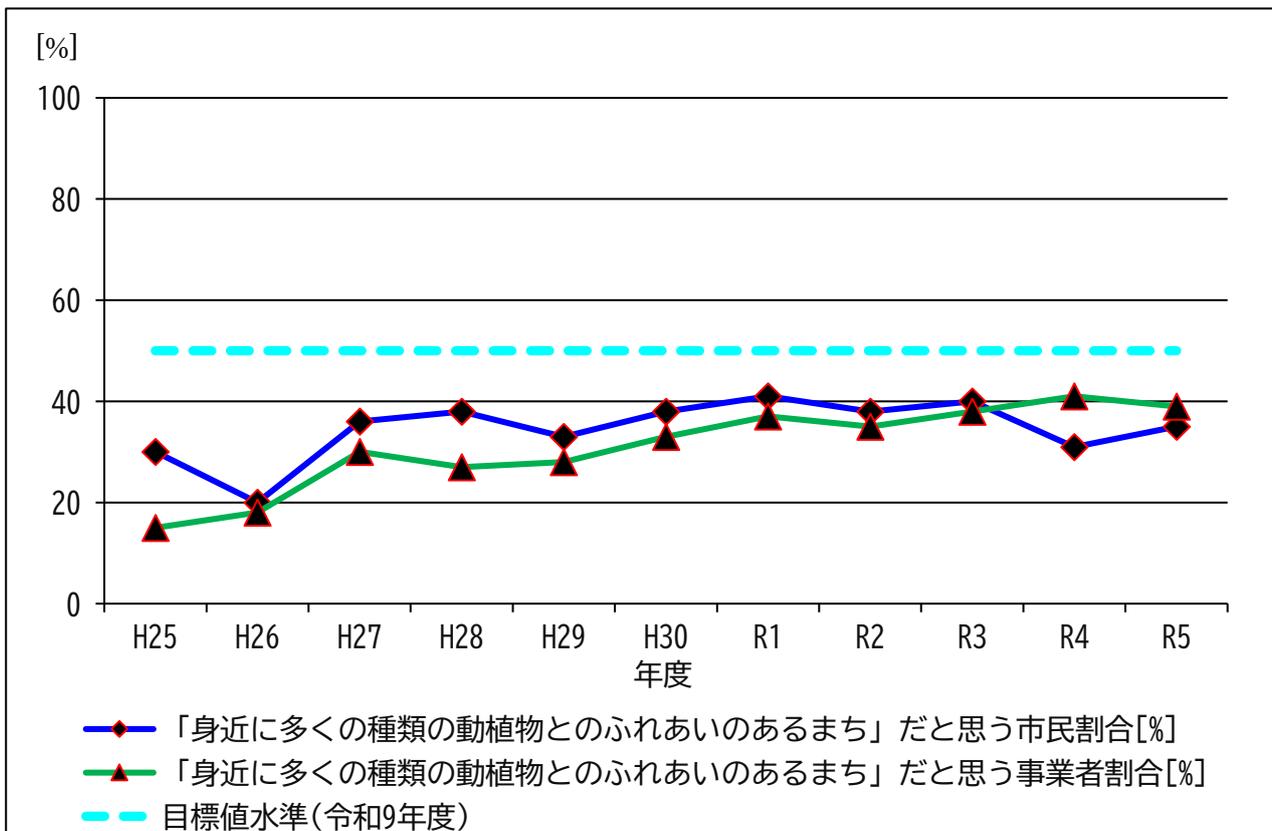
【令和5年度の取組事例】

- ・土地所有者と引き続き保全緑地の賃貸借契約を締結し、敷地内の緑の保全と管理を行った。泉の森の一部を取得した。
- ・市が設置する市民農園のほか、民間事業者が運営する市民農園が開催され、選択の幅が広がった。
- ・都市公園等の公共施設において自主的な活動を行う公園愛護会とみどりの愛護会の活動を支援することを通じ、緑化を推進した。
- ・「やまとの環境をよくする会」への活動支援を通じて、会員事業者に工業地の緑化のほか、緑化に関する普及啓発や技術習得を行ってもらうよう努めた。

6. 生物	自然環境
目 標 : 多様な生物とのふれあいのあるまち 数値目標 : 「身近に多くの種類の動植物とのふれあいのあるまち」だと思う 市民割合 50% 市が行う環境に関するアンケート調査結果	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合[%]	41	38	40	31	35	50
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%]	37	35	38	41	39	50

- 【 本 年 度 の 評 価 】 目標は未達成で、市民割合は増加したが、事業者割合は下がった
- 【 評 価 に つ い て 】 家屋・マンションが続々と建築されていることなどの影響が考えられる
- 【 目 標 の 確 認 方 法 】 市民・事業者アンケートの実施



6. 生物	自然環境
目 標 : 多様な生物とのふれあいのあるまち 数値目標 : 市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること 自然度を表す生物であるミンミンゼミの生息がぬけがら採取から確認できたかどうか	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること (ミンミンゼミが全体に占める割合[%])	生息を 確認 (13.2)	生息を 確認 (-)	生息を 確認 (-)	生息を 確認 (25.9)	生息を 確認 (28.3)	生息を 確認

※ 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査は中止し、ミンミンゼミの生息確認は市職員が行いました。

【本年度の評価】 目標を達成した

【評価について】 セミのぬけがら調査を実施し、多くのミンミンゼミのぬけがらが観察された

【目標の確認方法】 やまと市環境調査（セミのぬけがら調査）による把握

【令和5年度の取組事例】

- ・市内に生息・生育する生物について、市民による環境調査を実施し、調査票をHPで公開した。
- ・市HPや自然ハンドブック等を利用し、野生動植物の保護に関する普及啓発を継続的に行った。
- ・外来種の影響について、市HPや広報やまと、リーフレット等を利用し、市民へ積極的に周知した。
- ・9か所の大規模緑地で間伐を実施し、成長した高木や老木を伐採することにより、森が更新され、動植物の新たな生息・生育場所を確保することができた。

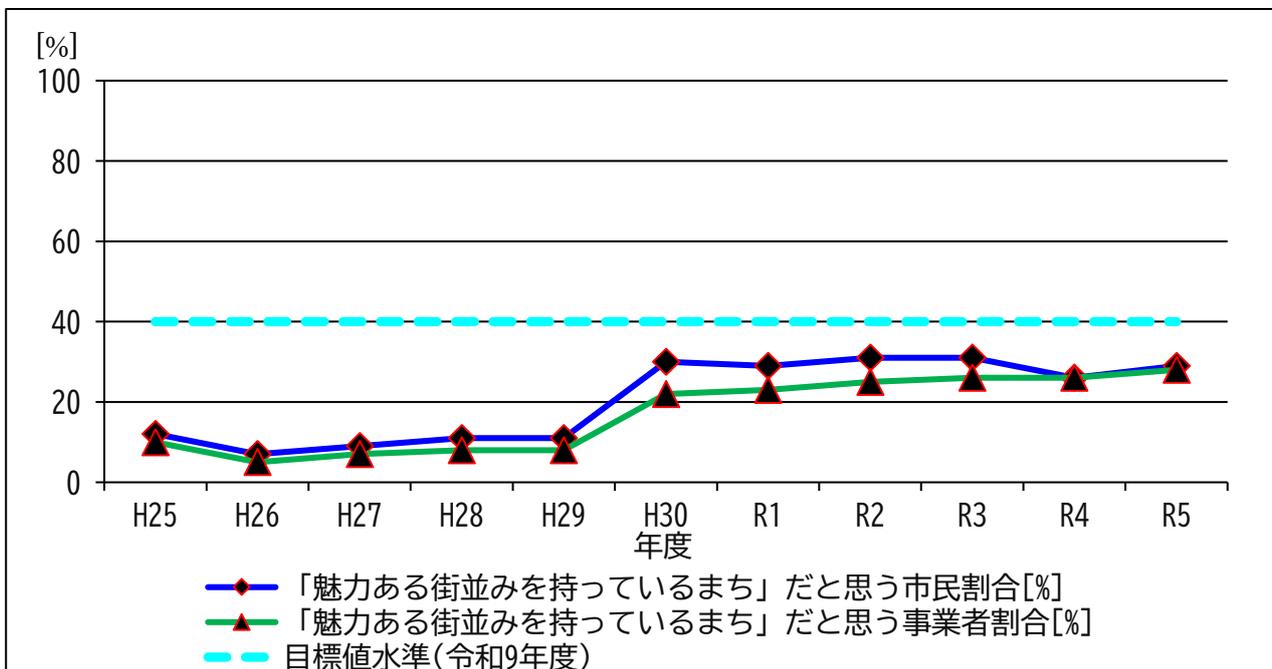
7. 景観	都市環境
目 標 : 魅力ある街並み 数値目標 : 「魅力ある街並みを持っているまち」だと思ふ市民・事業者割合 40% 市が行う環境に関するアンケート調査結果	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合[%]	29	31	31	26	29	40
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%]	23	25	26	26	28	40

【本年度の評価】 目標は未達成だが、市民割合、事業者割合ともに上がった。

【評価について】 景観法の通知に際して、大和市景観計画に定められた景観形成方針に適合するように調整するといった対応をしており、例年行っている取組であることから、地道な取組の成果が表れているとも考えられる

【目標の確認方法】 市民・事業者アンケートの実施



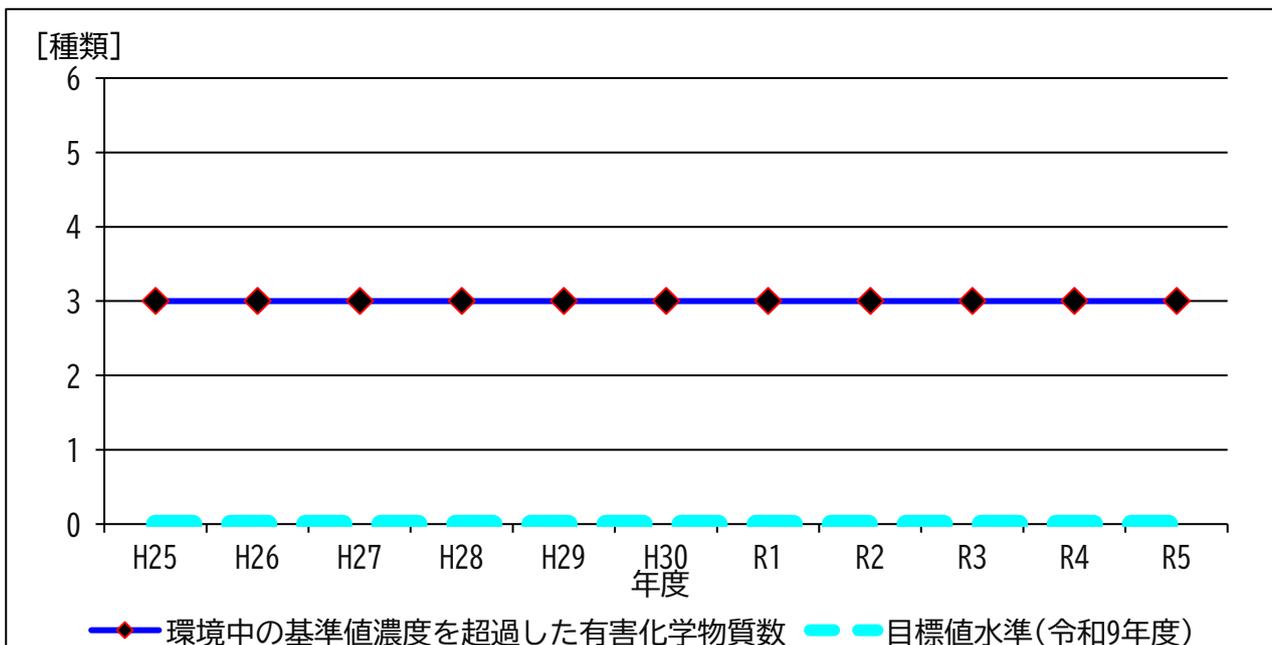
【令和5年度の取組事例】

- ・市民の自主的な街づくり活動を推進し、地域・地区における計画・ルールづくりにより良好な街並み形成を目指すため、市民の街づくり活動への支援を実施した。
- ・鶴間駅周辺の市道及び遊歩道6か所にベンチの整備を行った。

8. 安全	都市環境
目 標 : 安心して生活できるまち 数値目標 : 環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数 ゼロ 人の健康を守るために望ましい環境基準等を定められた有害物質を対象に市の大気、水質、地下水についての調査で環境基準等を超過した物質の数	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数 [種類]	3	3	3	3	3	0

- 【本年度の評価】 目標は未達成で、昨年度と同等だった
- 【評価について】 事業所について立入調査を実施し、化学物質に関する情報提供や使用者に対する指導を実施したが、状況を改善するまでには至らなかったことが考えられる
- 【目標の確認方法】 各環境中の基準濃度と超過した有害化学物質数の測定



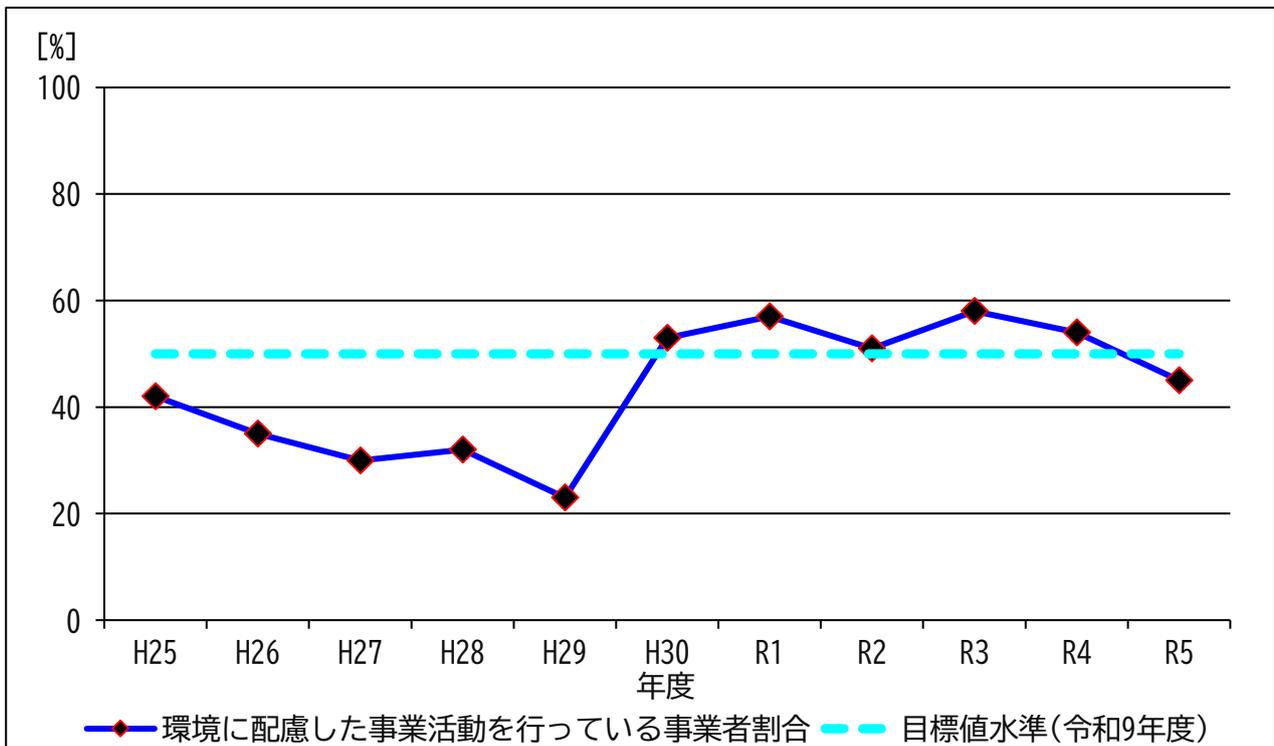
【令和5年度の取組事例】

- ・耐震化の必要性の周知を図るとともに、住宅の耐震診断、耐震改修の補助により、耐震化を進めた。
- ・防災マップを市民に提供したほか、防災セミナー、防災協力員研修の実施やスポーツフェスタ 2023 の出展等により、防災に関する意識啓発を行った。
- ・市内 11 か所の 100 トン水槽の巡回点検を水道局とともに年 2 回実施し、災害時の飲料水確保に努めた。

9. 産業	都市環境
目 標 : 農・工・商の調和するまち 数値目標 : 環境に配慮した事業活動を行っている事業者割合 50% 市が行う環境に関するアンケート調査結果	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
環境に配慮した事業活動を行っている事業者割合 [%]	57	51	58	54	45	50

- 【本年度の評価】 事業者割合は減少し、目標は未達成となった
- 【評価について】 アンケートの回答様式を変更した平成30年度から年度ごとの多少の増減はあるものの、横ばい傾向にある
- 【目標の確認方法】 事業者アンケートの実施



【令和5年度の取組事例】

- ・土づくり等を通じて化学肥料や農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を推進した。
- ・農業経営改善を進める認定農業者や、認定を受けようとする農業者などに対して、経営の相談、各種研修会の周知等を行い、農業者の育成に努めた。
- ・「やまとエコアクション21」やグリーン購入など、環境情報を収集し、パンフレットの配架等により、情報提供を行った。

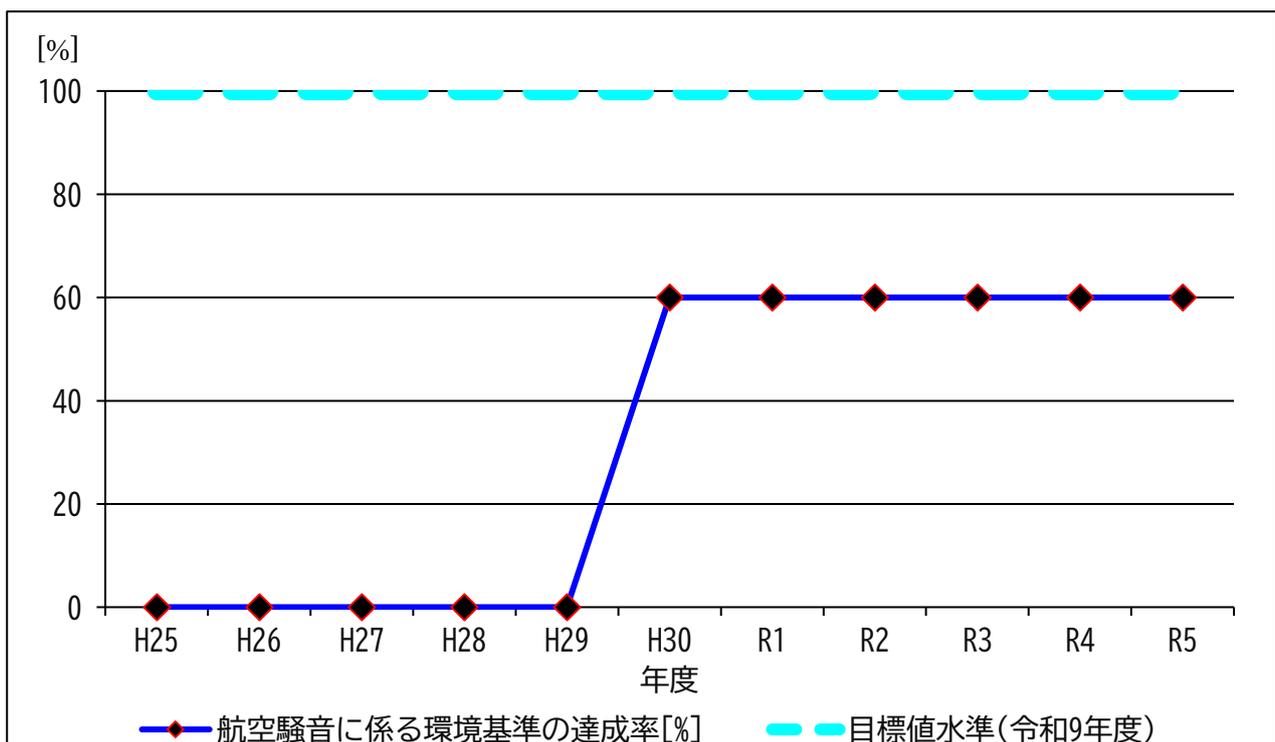
10. 基地	都市環境
目 標 : 航空機騒音のないまち	
数値目標 : 航空機騒音に係る環境基準の達成率 100%	
市内全域での「航空機騒音に係る環境基準」の達成率	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
航空機騒音に係る環境基準の達成率[%]	60	60	60	60	60	100

【本年度の評価】 目標は未達成で、昨年度と同等だった

【評価について】 空母艦載機の移駐により甚大な騒音は減少したが、今なお市内では航空機騒音が生じており、基地近傍地域では国が定める環境基準を満たしていない

【目標の確認方法】 航空機騒音の測定



10. 基地	都市環境
目 標 : 航空機騒音のないまち 数値目標 : 航空機騒音を逡減させるよう取り組む 航空機騒音を逡減させるよう取り組んだかどうか	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値
航空機騒音を逡減させるよう取り組む	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる

【本年度の評価】 目標を達成した

【評価について】 例年同様に航空機騒音を逡減させるよう取り組んでいる

【目標の確認方法】 航空機騒音の軽減に向けたはたらきかけ

【令和5年度の取組事例】

- ・大和市、大和市基地対策協議会、厚木基地騒音対策協議会、神奈川県基地関係縣市連絡協議会による要請活動（NLPの硫黄島全面移転など空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で実施しないことや、基地機能の縮小化、基地の全面返還、公共的施設の障害防止対策等について）を行った。
- ・県と市で設置した騒音計により、騒音測定を継続実施し、騒音測定データを得ることができた。
- ・基地周辺（2か所）で地下水調査を実施したところ、環境基準を満たしていた。
- ・基地周辺（2か所）で窒素酸化物の簡易測定を実施し、状況の把握をした。

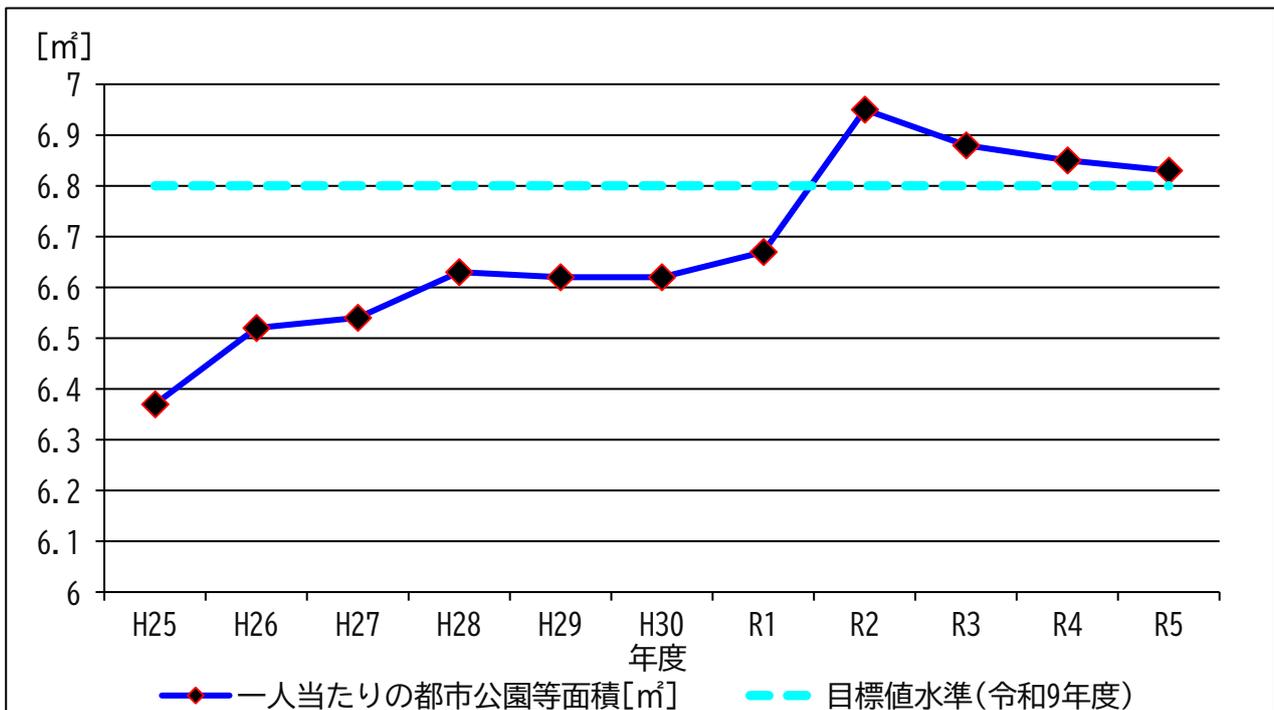
1 1 . 都市空間	都市環境
目 標 : 都市空間のゆとりのあるまち	
数値目標 : 一人当たりの都市公園等面積 6.8 m ² 以上	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
一人当たりの都市公園等面積 [m ²]	6.67	6.95	6.88	6.85	6.83	6.8

【本年度の評価】 目標を達成した

【評価について】 人口増加の影響で一人当たりの公園等面積は減少しているが、公園の整備を進め、基幹公園の面積は増加している

【目標の確認方法】 公園等の面積の把握



【令和5年度の取組事例】

- ・中央の森2号緑地を街区公園として整備した。
- ・緑の広場の賃貸借契約を更新し、オープンスペースを確保することができた。
- ・大和市開発事業の手続き及び基準に関する条例により、開発面積に応じた緑地の確保について適正に指導、協力依頼することができた。
- ・市街化区域内の市民緑地2か所を適正に維持・管理し、風の通り道を確保した。
- ・地域住民の良好な生活環境を確保するため、開発事業等に対する適正な指導等により、環境問題の発生を未然に防止し、良好な生活環境を確保できた（協議件数 55 件）。

12. 地球環境	地球環境
目 標 : 地球市民としての自覚を持って行動するまち 数値目標 : 温室効果ガス排出量削減率 40.0% (2013年度比) 地球温暖化を抑制するため「温室効果ガス排出量」を指標とし、2013年度(平成25年度)を基準とした削減率	

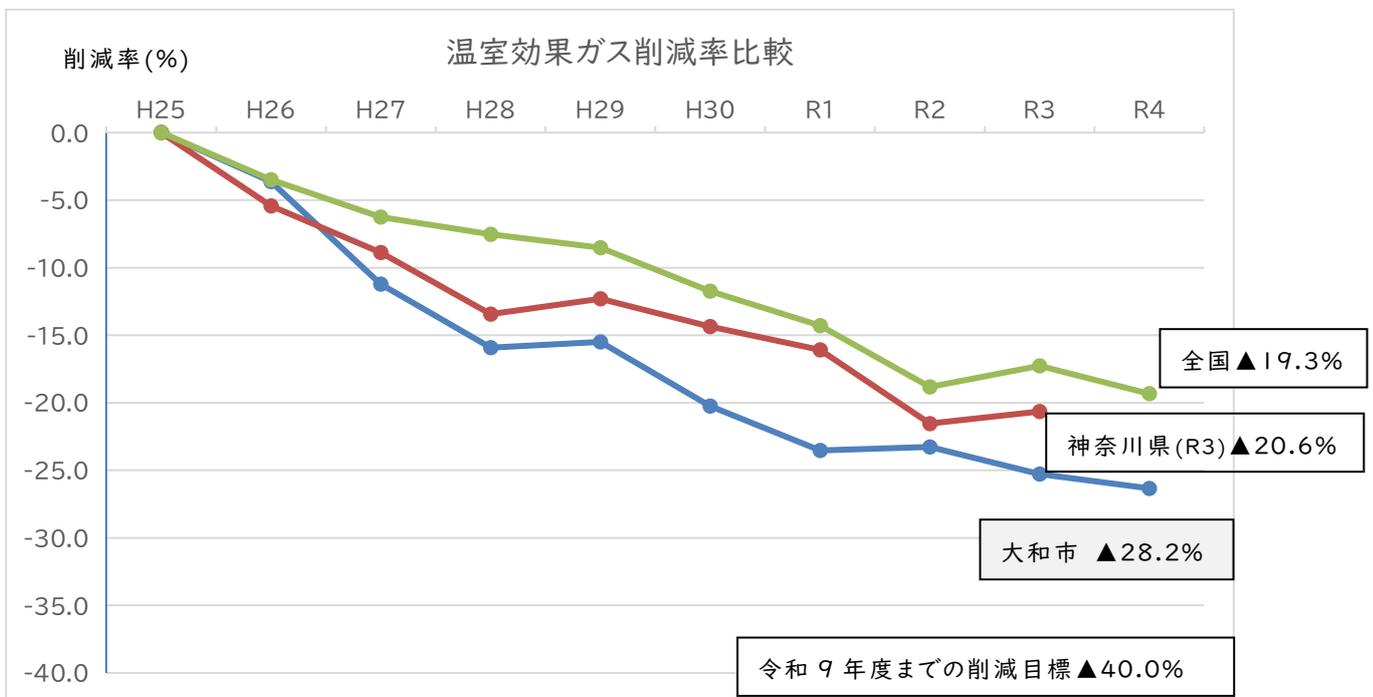
項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目 標 値
温室効果ガス排出量削減率[%]	23.5	23.3	25.3	28.2	40.0

- ※ 温室効果ガス排出量の推計は、統計資料などを用いて作業する必要があることから、把握できる排出量の情報は2年遅れとなります。
- ※ 目標値は令和4年4月に「大和市環境基本計画」の部分修正を行った際、19.5%から40.0%に変更しました。
- ※ 令和6年12月、国の「都道府県別エネルギー消費統計」が1990年にさかのぼって修正されました。この結果、本市の温室効果ガス排出量と削減率も、今回2013年度にさかのぼって修正しています。

【本年度の評価】 目標の達成に向けて削減が進んでいる

【評価について】 産業部門を中心に削減が進んでいる。またプラスチックごみや繊維ごみのリサイクルが進んだことにより、廃棄物分野の排出量も減少している。

【目標の確認方法】 環境省「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル(算定手法編)(令和6年4月)」に基づく推計



注 神奈川県の削減率は「県内の温室効果ガス排出量(速報値)推計結果概要」に、全国の削減率は環境省報道発表資料「温室効果ガス排出(確報値)について」による。

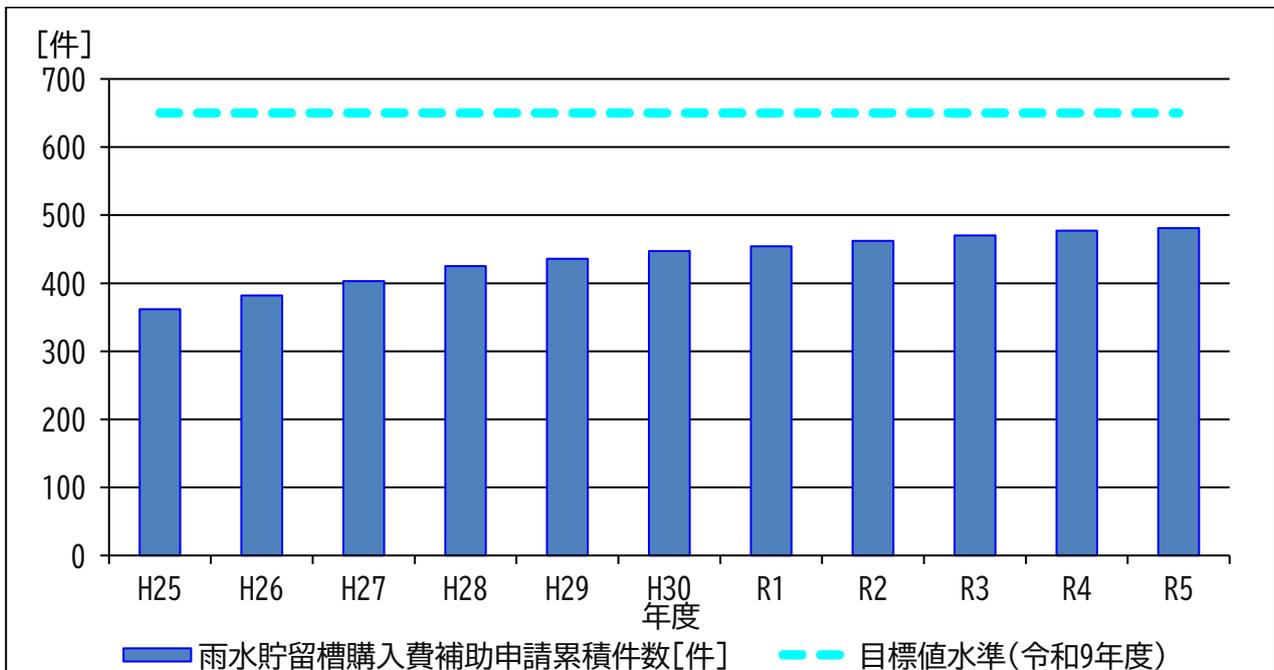
【令和5年度の取組事例】

- ・地球温暖化対策実行計画に定める対策を推進するとともに、市域及び市役所の温室効果ガス排出量を算定し、計画で定めた温室効果ガスの削減目標に対する進捗状況を市HPで公表するとともに、地域脱炭素に資する望ましい行動等について、パネル展示や講演会等を通じて市民に周知した。
- ・熱中症予防に向け、様々な手段を通じた普及啓発を実施した。また、市民が暑さを避け、一時的に休息できる場所として「ひと涼みスポット」を開設した。

13. 水循環	循環
目 標 : 水と親しみのあるまち	
数値目標 : 雨水貯留槽購入費補助申請累計件数 650 件	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
雨水貯留槽購入費補助申請累計件数[件]	454	462	470	477	481	650

- 【本年度の評価】 年当たりの申請件数が目標を達成していない
- 【評価について】 令和9年度累計目標達成には年間30件程度の申請が必要となる
- 【目標の確認方法】 雨水貯留槽購入費用補助申請件数（累計）



【令和5年度の取組事例】

- ・雨水貯留槽購入費補助金交付制度により、補助金を交付した（補助件数4件）。
- ・建築確認や位置指定道路の審査の際、雨水浸透柵の記載を確認し、雨水の地下浸透の推進を図った。
- ・消防本部資機材倉庫と西鶴間学校外トイレに雨水浸透設備を設置した。
- ・生活道路整備工事で、上草柳六丁目地内及び西鶴間四丁目地内に117mの透水性舗装を実施した。
- ・有害物質使用事業所30件に対し立入し、指導・啓発を行った。また、市HPを通じて事業者や市民に対し、有害化学物質に関する情報を提供し、土壌の汚染防止に努めた。

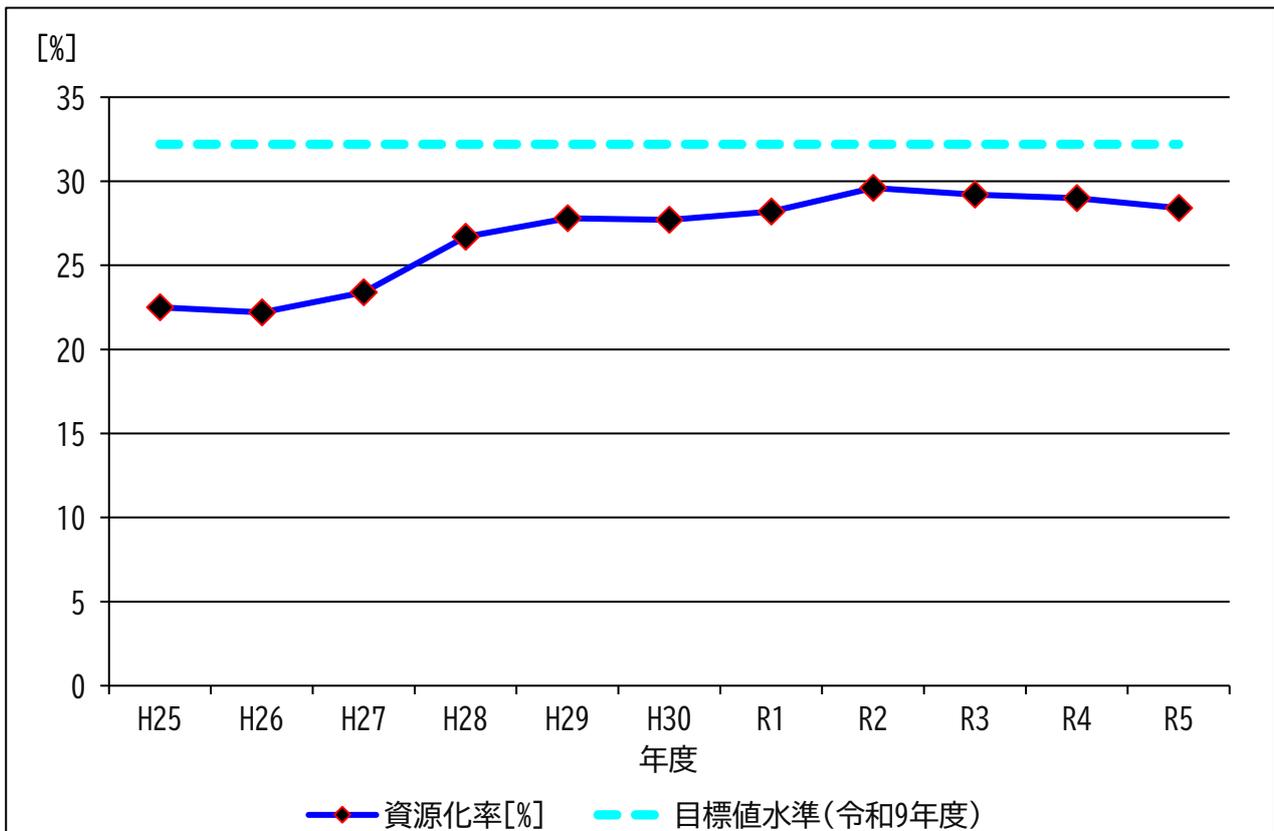
14. 資源	循環
目 標 : 物質循環のなされているまち 数値目標 : 資源化率 32.2%以上 ごみ・資源を含めた総排出量に占める総資源化量の割合（資源回収・焼却灰・燃やせないごみからの資源化量を含む）	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
資源化率[%]	28.2	29.6	29.2	29.0	28.4	32.2

【本年度の評価】 目標は未達成で、昨年度と同等だった

【評価について】 資源については、紙製容器包装・缶・ペットボトル・容器包装プラ等の各種容器包装の軽量化等によって排出量が減少しているが、ごみについては生ごみなど排出量が変わらないものが多いため、相対的に資源化率が減少した

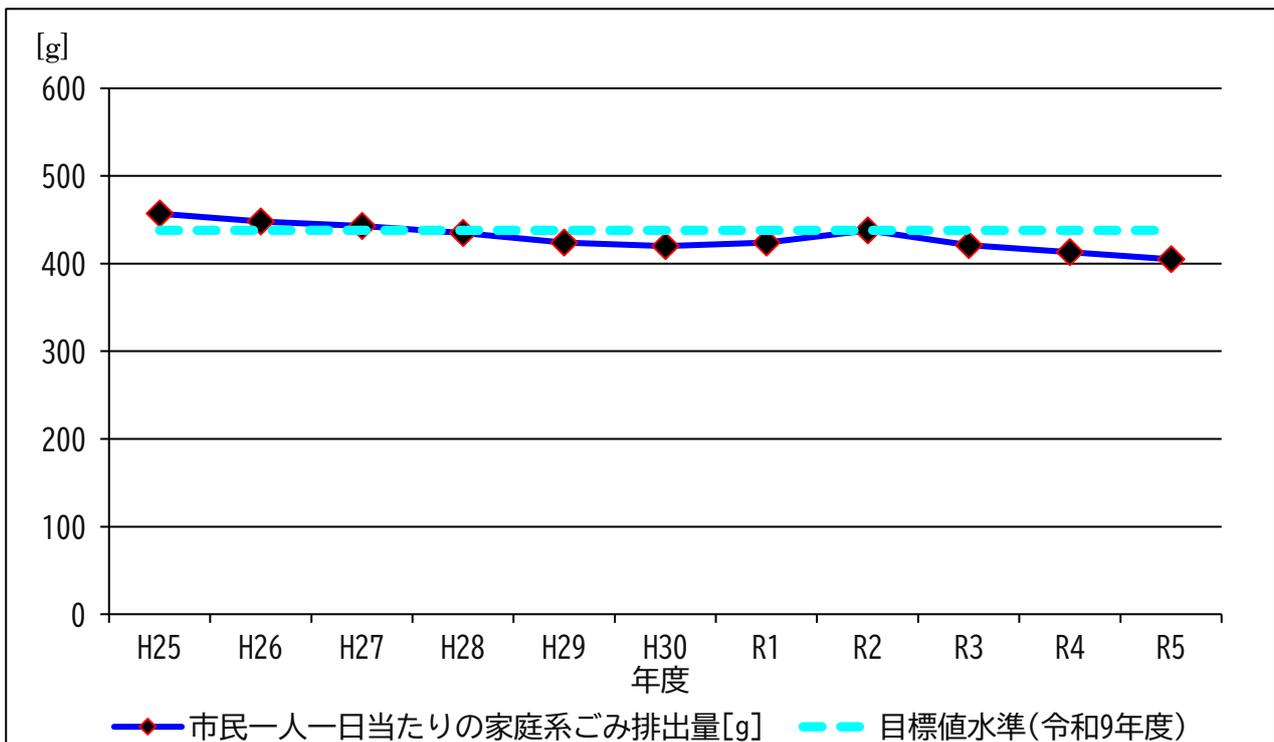
【目標の確認方法】 ごみの排出量及び資源化量の集計



14. 資源	循環
目 標 : 物質循環のなされているまち	
数値目標 : 市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量 438g 未満	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
市民一人一日あたりごみ排出量 [g]	424	438	421	413	405	438

- 【本年度の評価】 目標を達成した
- 【評価について】 パンフレット・ごみカレンダーアプリ等を活用し、ごみの減量化・資源化を啓発した結果、市民のご協力を頂けて、ごみの排出量が減少したことが考えられる
- 【目標の確認方法】 ごみの排出量及び資源化量の集計



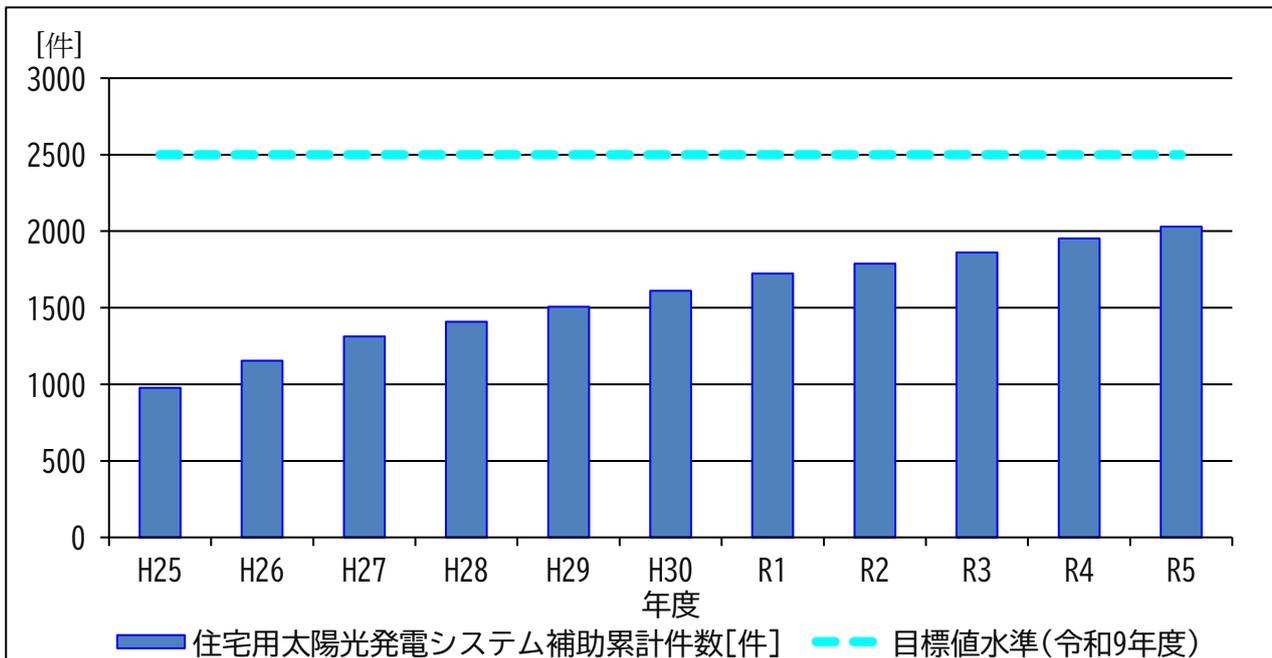
【令和5年度の取組事例】

- ・パンフレット・ごみカレンダーアプリ等を活用し、ごみの減量化・資源化を啓発した。ごみは前年度比約 2.26%減、資源化率は前年度比約 0.6%増となった。
- ・一般廃棄物処理計画の基本リサイクル率の目標達成と、市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の更なる削減のため、広報やまと、どこでも講座等による、市民への啓発活動を行った。
- ・資源化施設が円滑に稼働するよう、補修計画に沿って補修した。

15. エネルギー	循環
目 標 : エネルギーを有効に利用するまち 数値目標 : 住宅用太陽光発電システム補助累積件数 2,500 件 再生可能エネルギーの普及促進を目的とし、平成 21 年度から開始した住宅用太陽光発電システム補助の累積件数	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
住宅用太陽光発電システム補助累積件数[件]	1,723	1,789	1,862	1,952	2,031	2,500

- 【本年度の評価】 年当たりの補助件数が目標を達成していない
- 【評価について】 市内で太陽光発電の導入が進んでいる(※)が、国の様々な補助金が増えている中で、本市の住宅用太陽光発電システム補助を活用しない導入が増えているため。
- 【目標の確認方法】 住宅用太陽光発電システム補助件数(累計)



【令和5年度の取組事例】

- ・市HPや広報やまと、パネル展示等を通じ、省エネルギーに関する情報の提供を行った。住宅断熱による省エネルギー効果について、市民を対象とした講演会を実施した。
- ・太陽光発電等の補助制度により、再生可能エネルギーの普及を促進した。
- ・焼却炉の稼働計画を作成し、効率的な発電を実施した。当初計画どおりの発電を行うことができた

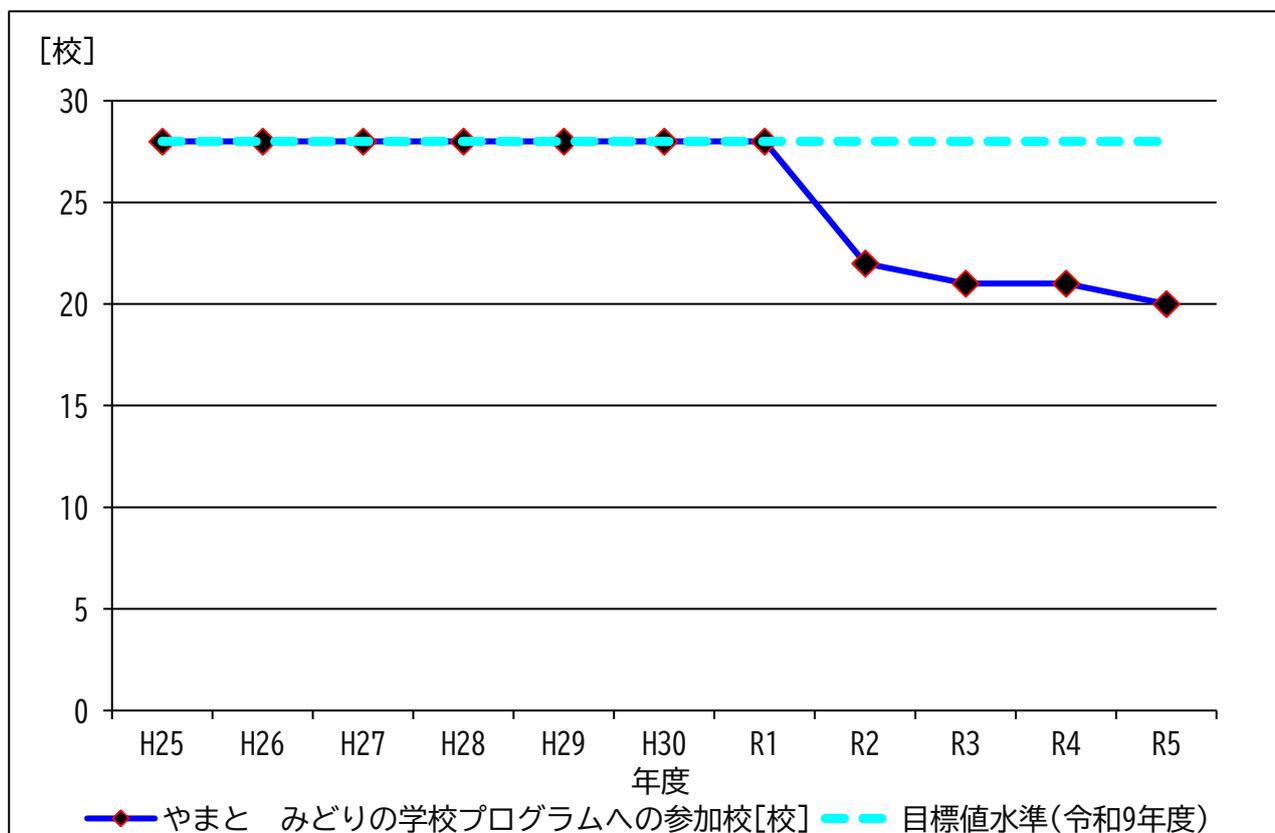
16. 環境保全活動	環境保全活動
目 標 : 環境にやさしい市民のまち 数値目標 : 市内全校のやまと みどりの学校プログラムへの参加 環境教育の定着を目的として市内小中学校(全28校)が「やまと みどりの学校プログラム」への参加を達成したかどうか	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
やまと みどりの学校プログラムへの参加校 [校]	28	22	21	21	20	28

【本年度の評価】 目標は未達成で、昨年度と同等だった

【評価について】 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により「やまと みどりの学校プログラム」への参加を控えている学校があると考えられる

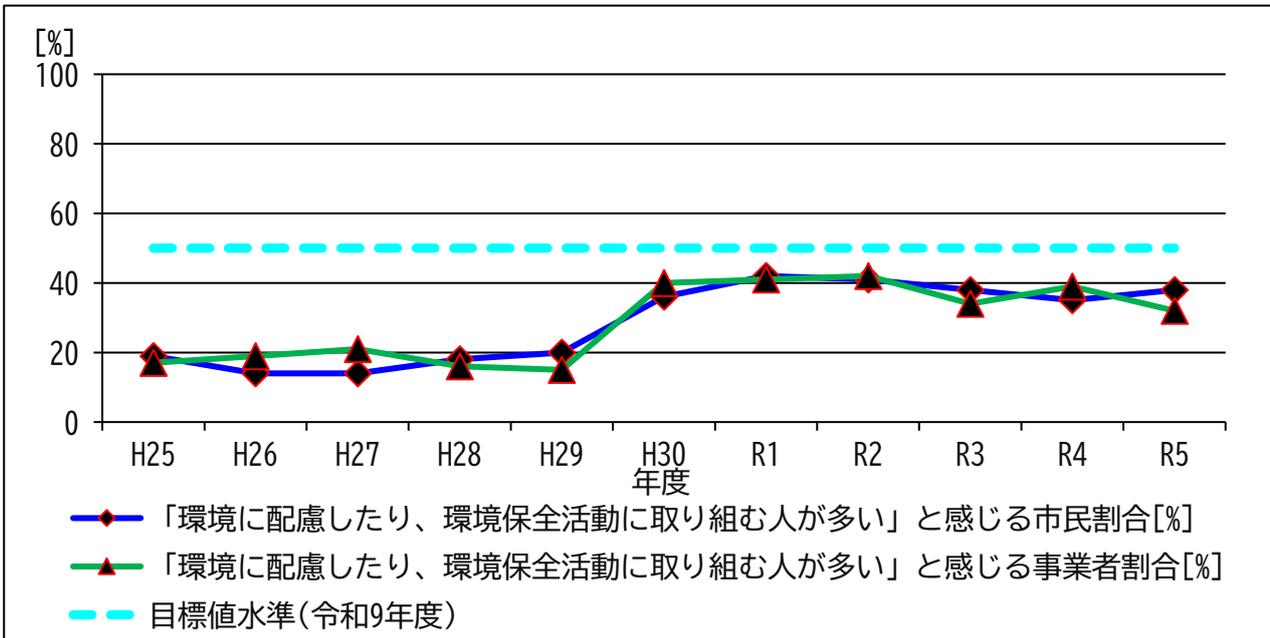
【目標の確認方法】 「やまと みどりの学校プログラム」のエントリー数



16. 環境保全活動	環境保全活動
目 標 : 環境にやさしい市民のまち 数値目標 : 「環境に配慮したり、環境保全活動に取り組む人が多い」と感じる市民・事業者割合 50% 市が行う環境に関するアンケート調査結果	

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標 値
「環境に配慮したり、環境保全活動に取り組む人が多い」と感じる市民の割合[%]	42	41	38	35	38	50
「環境に配慮したり、環境保全活動に取り組む人が多い」と感じる事業者の割合[%]	41	42	34	39	32	50

- 【本年度の評価】 目標は未達成で、市民割合は増加したが、事業者割合は下がった
- 【評価について】 新型コロナウイルス感染症の影響によって環境保全活動を控えた人がいたことの影響が続いていると考えられる
- 【目標の確認方法】 市民・事業者アンケートの実施



【令和5年度の取組事例】

- ・「やまと みどりの学校プログラム」を通じ、学校での環境教育を支援した。また、市内小中学校に環境配慮行動の周知と定着を目標に作成した「かんきょうノート」を配布し、学校の協力のもと、授業等において活用した。
- ・環境に係る講座を開催することにより、市民に情報交換の場を提供した。

